

観音寺



ゼフィランサス
DISTRICT336-A 5R-2Z
2022年10月5日 第1407号



観音寺ライオンズクラブ

ブライアン E. シーハン 国際会長

国際会長テーマ:「We Serve」

国際会長メッセージ:「Together We Can (皆でやればできる)」

336-A 地区スローガン

Service Activity is the key to Lions Clubs

(ライオンズクラブのキーは奉仕することである)

336-A 地区 ガバナーズスローガン 市村 通夫

「感謝を込めてウィサーブ」

ガバナーキーワード:「不易流行」

5R-2Z 観音寺ライオンズクラブ会長スローガン 合田 俊午

「いまこそ We Serve」

会長キーワード:「協働」

会報 1407号

目次

会長挨拶	会長 合田 俊午	3
各種会合報告／ALICEクッキングレシピ		4・5
5Rガバナー公式訪問 【幹事:寺瀬 竜二】		6
第27回三観地区中学校LIONS CUPバスケットボール大会		8・9・10
編集後記 MC・地区誌編集委員会		11

会長挨拶



香川県はいいところ？

観音寺ライオンズクラブ会長 合田 俊午

10月となり朝晩は肌寒くなってきたと感じます。風邪などひかないよう気を付けましょう。

さて、先日の台風14号は大型で猛烈な勢力、史上最強クラスの台風ということで、上陸前から気象庁がマスコミを通じて警戒するよう知らせていました。幸いなことに局所的な洪水や停電はあったようですが、激甚災害と呼ばれるような被害はありませんでした。

一般的に激甚災害法と呼ばれる法律が施行されたのは昭和37年で、昭和の時代に起こった災害で、この法律が適用されたのは昭和61年の大規模水害のみでしたが、平成に入ってからには阪神大震災が発生したころから毎年のように適用される災害が発生しています。日本は今まさに災害の時代の中にあると言ってもいいでしょう。その災害の時代にあって、香川県は大規模な災害を被らずにいます。そんな災害のない香川県に住んでいる人たちの中で、どこかで大きな災害があつたりすると、こんな風に言う人もいます。

「〇〇県は大変だけど、ほんとうに香川県は災害もなくいいところに住んでいるわ」と……。本当にそうでしょうか？今まではそうだったかもしれませんがこれから先はどうでしょうか？

国土交通省から「都道府県別の災害リスクエリアに居住する人口について」というデータが発表されています。それによると香川県において県民の97.4%がなんらかの災害リスクエリアに住んでいるそうです。いままで大規模災害の被災者にならないですんだのはただのラッキーだということがわかります。

一旦災害が起きれば被災することは必至の地に住む私は一人一人が災害に対する準備を必要とします。また地域内や地区間での協力も必要です。一人で対処できないことも近所や知り合いの協力でなんとかできることもあります。私たちライオンズクラブもできる範囲で協力するようにすべきと考えます。ライオンズクラブ全体では各地区に地区アラートを設置して災害時の対応を検討しています。しかし現状では地区の中でも被災した地域のクラブに対して支援しようとしても効果的な方法がとれていないように感じます。実際に被災した地区のクラブから情報を集約、分析して効果的に支援する仕組みを早急に立ち上げてほしいと願っています。

大災害は私たちの都合に合わせてくるものではありませんから……。

◆例会報告◆

◇第1549回例会（通常例会）

例会日 2022年9月21日

例会場 観音寺グランドホテル

司会進行 副L・T 安藤 祐子

- ・開会ゴング 会長 合田 俊午
- ・国家「君が代」並びに「ライオンズ ヒム」斉唱
- ・「ライオンズの誓い」唱和 小西 幸夫
- ・ヘアドネーション表彰 友枝 美恵子
寺瀬 竜二
- ・献血運動推進全国大会 厚生労働大臣表彰
- ・会長挨拶 会長 合田 俊午
- ・幹事報告並びに理事会承認事項
幹事 寺瀬 竜二
- ・委員会報告
 - ° 計画委員会 委員長 近藤 房子
 - ° 青少年・LCIF・ライオンズゲスト委員会
副委員長 高橋 啓二
- ・誕生祝い（8月・9月）
 - 🌸 小出 章寛 🌸 大河内 孝
 - 🌸 詫間 茂 🌸 大西 相一郎
 - 🌸 寺瀬 竜二 🌸 岡田 幸憲
 - 🌸 高木 修
- ・T・T出場 T・T 西山 宏之
- ・出席報告 計画委員長 近藤 房子
- ・会計報告 会計代理 寺瀬 竜二
- ・閉会宣言並びに閉会ゴング
会長 合田 俊午
- ・「ライオンズクラブの歌」
- ・「また会う日まで」
本日のソングリーダー 内田 貴子
- ・ローア 小出 章寛



◆幹事報告◆

- 1、鴨島キャビネット事務局より
 - ・新会員キットについて
 - ・ライオンズ必携注文票
 - ・学生ボランティア、学生会員プログラム開始のお知らせ
- 2、336-A 地区情報センターより
 - ・336 複合地区 SCP・FWT 活動資料
 - ・ライオンズレター
 - ・LC 周年記念一覧表
 - ・複合地区ダイジェスト
 - ・336 複合地区アラートセミナー開催
日 時 2022年10月7日(金)13:00～
場 所 グレースオフィススクエア
- 3、こんぴらライオンズクラブより
 - ・年間スケジュール更新
- 4、綾歌郡ライオンズクラブより
 - ・綾歌郡ライオンズクラブ結成55周年記念式典のご案内
日 時 2022年11月20日(日)11:20～
場 所 綾瀬
登録料 ¥10,000
- 5、多度津ライオンズクラブより
 - ・会報誌8月号
- 6、高松玉藻ライオンズクラブより
 - ・結成60周年記念誌
- 7、土佐清水ライオンズクラブより
 - ・会報誌第143号
- 8、香川県健康福祉課より
 - ・令和4年度子ども・若者育成支援者研修会のご案内
日 時 2022年10月31日(月)13:00～
場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・令和4年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動の実施について
実施期間 10月1日～11月30日

◆理事会報告

◇定例理事会

日時 2022年9月14日(水) 19:00～

場所 事務局

出席者 合田 俊午、横井 朋子、友枝 美恵子、
金丸 康剛、寺瀬 竜二、浅野 忠一、
山内 茂宏、田代 泰久、西山 宏之、
塩田 史子、内田 貴子

一、議題

- 1、各種登録料・旅費について
- 2、9月第二例会について
- 3、ライオンズ必携注文数について
- 4、YCE・国際関係・ライオンズレハ委員会
委員長・副委員長について
- 5、その他

◇臨時理事会

日時 2022年9月21日(水) 18:30～

場所 観音寺グランドホテル

出席者 合田 俊午、横井 朋子、友枝 美恵子、
寺瀬 竜二、山内 茂宏、西山 宏之、
安藤 祐子、塩田 史子、内田 貴子、
原 信幸

オブザーバー 近藤 房子

一、議題

- 1、計画委員会より委員会報告
- 2、各種登録・旅費について
- 3、8月例会食費について
- 4、その他

◆委員会報告

◇計画委員会

日時 2022年9月21日(水) 19:20～

場所 観音寺グランドホテル

出席者 合田 俊午、寺瀬 竜二、近藤 房子、
森 一夫、高木 修、塩田 史子、
横井 朋子、木太 紀美子

一、議題

- 1、早朝例会について

☆ALICE クッキングレシピ☆

【オイルサーディンベネチア風】

[材料]

- オイルサーディン缶詰 1缶
(燻製でないものでも良)
- 小玉ねぎ 3個 or 玉ねぎ半玉
- にんにく 1かけ
- ワインビネガー赤か白
大きじ 3
- 干しぶどう
(ワインか水で戻した
もの) 50g 位



[作り方]

- ①玉ねぎは薄切りに、にんにくはみじん切りする
- ②鍋にオイルサーディンの油を全部入れ、①を加え、しんなりするまで弱火で炒める。
- ③玉ねぎがしんなりしたところにオイルサーディンと干しぶどうを汁ごと加えてワインビネガーも入れて、ざっくりからめてひと煮立したら皿に一旦移す。
- ④粗熱が取れたら涼しげなガラスの器に盛り付ける
- ⑤もう少しスパイシーさが欲しいときは粗挽きのブラックペッパー等をかけるとなお良い。



[付け合わせ例]

ピオーネ等葡萄とセルフィーユのハーブを使用



5 R 地区ガバナー公式訪問

5 R 地区ガバナー公式訪問に参加して

幹事 寺瀬竜二

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 5 R 地区ガバナー公式訪問が令和 4 年 8 月 7 日（日）午後 1 時 30 分からまなべ結婚式場において開催されました。

会長代理森一夫さん、第一副会長友枝美恵子さん、幹事の私、会計浅野忠一さんの 4 人が参加いたしました。地区役員として 2 ゾーンのゾーンチェアパーソン（ZC）の高橋啓二さん、地区委員として、GAT・GMA・会則委員会委員の大河内孝さんも当クラブから出席されておりました。

市村地区ガバナーからは、子ども食堂に力を入れて欲しい旨の要望がありました。当クラブとして子ども食堂支援についてどのようなアプローチの仕方が考えられるかクラブ内で議論していきたいと思えます。

また、キーワードの「不易流行」は、変えるべきものと残しておくものを見極めて実施するというのですが、何を残すべきで何を変えるべきかについては、各クラブに委ねるという趣旨だと考えられました。「We Serve」などの基本原則を変えないのは当然として、観音寺クラブのカラーをどこまで時代に合ったものに変えていくべきか考えていきたいと思いました。

各地区コーディネーター及び各委員からの要望がなされたほか、各クラブの会長の目標と抱負が紹介され、当クラブの合田会長の目標などについても森さんから紹介されました。コロナによって分断された人間関係の希薄化を修復していくということを土台に、運営と事業を活性化していくということだと理解しました。

ガバナーの指導のもと、会長とともにコロナに打ち克つクラブ運営を目指していこうと決意した次第でした。



第 27 回三観地区中学校 LIONS CUP バasketボール大会

8月28日(日)豊中町体育館に於いて第27回三観地区中学校 LIONS CUP バasketボール大会を開催しました。大会には三観地区より男子9チーム、女子8チームが参加しました。今大会での上位3チームは地区新人戦でシード権を獲得できる為、どのチームも白熱した試合を見せていました。結果は男子優勝：三豊中学校、準優勝：観音寺中学校、女子優勝：K-WEST、準優勝：三豊中学校となりました。顧問の先生とキャプテンに大会の感想を伺いました。

学校組合立三豊中学校 男子Basketボール部顧問 香川 和志

新チームでの大会参加の機会をいただき、観音寺ライオンズクラブの皆様にご挨拶申し上げます。ありがとうございました。

Basketボール部の顧問に初めてなって4ヶ月、暗中模索の日々ではありますが、部員達が協力して毎日の練習や大会での試合ができています。どの部活動にも言えることですが、夏休み中の新チームへの移行は、顧問として悩む時期です。新キャプテンを中心に始動して、よく頑張っているのですが、練習中の苦労や課題はもちろんあります。特に、新型コロナウイルス感染の流行による練習への参加人数の影響は、練習メニューの中でも試合形式に近いもの程できにくくなっていました。練習試合も可能かどうか迷っている中、他校Basketボール部の先生方のご厚意でなんとか大会前にでき、皆様のご支援をありがたく思っています。このような状況ですので、大会責任者の方々には開催にあたり判断にご苦慮されたと思います。しかし、たくさんの選手にとってよいスタートとなる大会になりました。ありがとうございます。

新チームでは、三年生のチームから活躍していた選手がいるので、初陣ならではの過度の緊張感もなく落ち着いて試合に臨むことができました。また、2ピリオドによる試合なのでスタミナへの配慮なく選手起用ができたのも自チームには有利になったことです。とはいえ、シュートの成功率や各試合での体力消耗の様子からは、自分たちの課題も目立ち、決して他チームとの力量に顕著な差はなく結果はすぐに入れ替わってしまうことも部員一人ひとりが感じていました。今大会が、夏休み中の練習成果を知る以上に今後のチームの課題を明らかにすることにも意義がありました。ライオンズクラブの皆様には今後もスポーツを通して若年層の育成にご支援、ご協力くださるようお願いいたします。

学校組合立三豊中学校 男子Basketボール部キャプテン 竹内 稜槻

ライオンズカップは、新チームとして初めての大会であり、僕のバスケ人生で初めて優勝のできた大会でした。全試合を終えて結果がわかったときは、心が躍りました。

僕たち男子バスケ部には技術面で指導して下さるコーチがいません。キャプテンになったときは、これからの練習が不安でしたが、部員たちで話し合い練習メニューを考えています。仲間で話しあって決めた練習でも悩みの種は尽きません。練習を真面目にしてくれないときや、プレーに失敗が重なり練習がスムーズに進まないときがあります。仲間とプレーについての意見が合わずに、練習が止まるときもありました。でも、一緒に練習に励んできた先輩たちが県大会出場

KAN-ONJI-LIONS

を成し遂げた足跡を思い出すと、仲間と頑張らなければいけないと思い、奮起して夏休みの練習を積み重ねてきました。先輩方は、練習の手伝いにも来てくれ僕たちの応援をしてくれました。この先輩方に感謝の気持ちを伝えるためにも、このチームで強くなることが目標です。小学生の頃のミニバスケットボールでお世話になったコーチ、先輩方、保護者の方、顧問の先生のように応援して下さる方々の期待に応えるために頑張ろうと思えるようになりました。そして、悩んでいた課題をこの仲間と一緒に乗り越えていく自信が湧いてきたのは、今大会での優勝のおかげです。

しかし、新チームみなって間がなく、まだまだチーム力も備わっていない時期の試合だったので他のチームが本気で追いかけてくる今後は、さらに油断できません。僕たちの最終目標は地区総体優勝です。ライオンズカップの結果を励みにし、来年に向けてさらに成長し、総体で良い結果を残せるように仲間と精一杯頑張りたいと思います。



観音寺中学校男子バスケットボール部 キャプテン 三島木 浩太

新チームでの初めての公式戦は、このライオンズカップでした。去年の僕たちのチームには、二年生が一人しかおらず苦しい戦いが強いられました。しかし、その分だけ一年生は経験も積むことができました。去年はあまり良い結果が出せずに終わってしまいましたが、先輩からの期待を胸に一生懸命夏休みの間練習してきました。特に練習したのは、速攻とパスです。まず自分たちが得意なシチュエーションを考えた時、すぐに出てきたのが速攻でした。ただ得意な速攻でも、失敗することもあり、その原因を探してみるとパスミスとパスのタイミングの2つが出てきました。この2つを改善するために、速攻とパスをたくさん練習してきました。その結果、パスミスとパスのタイミングがどんどん良くなっていき、僕たちの速攻がレベルアップできました。

大会ではレベルアップした速攻を意識して試合に臨みました。初めの試合は緊張しているせいか、シュートタッチがあまり良くなく苦しかったです。二試合目からは慣れてきたおかげでシュートタッチも良くなり、意識していた速攻もすることができました。最終的には準優勝になり、去年よりもいい結果を出すことができました。これからの自分の目標は、シュートの精度を高くすることと、ヘルプディフェンスを上手くすることです。次の大会では、今回よりも良い結果が出せるようにチーム一人一人が全力でやると同時に、バスケの楽しさを味わいながら練習に励んでいきたいです。



KAN-ONJI-LIONS

K-WEST 代表 行天 達治

まず コロナ禍にもかかわらず、大会を開催していただいた主催者の方々に感謝申し上げます。二試合とはいえ、選手達には貴重な体験となりました。

当クラブは、今年から発足した学校の部活動ではないクラブチームです。現在のバスケットボール界は過渡期であり、時代とともに活動の内容と場所が変化し続けています。

その中で、全国的に見ても U-15 のクラブチームが増えてきております。この西讃地区においても、小学生のミニバスケットボールのレベルもここ数年上がってきており、この流れを汲むクラブを目指して日々練習に励んでいます。

今後数年で中学校の部活動の流れがどのように変化するのか分かりませんが、選手達がハイレベルなバスケットボールを目指せる環境を今後とも継続したいきたいと思います。

まだまだチームのレベルは高くありませんが、いつかは西讃地区から全国に通用するチームを作っていきたいです。そのためにも、選手が少しでも経験できる場を提供していただける方々に、プレーで笑顔と感動を届けられる選手を一人でも多く育成できるように、チームスタッフ全員で取り組んでまいりたいと思います。

クラブチームの参入を快く認めていただいた三観バスケットボール協会の方々をはじめ、中体連の先生方に恩返しができるよう、今後とも精進してまいります。

K-WEST 石井 天和

K-WEST でライオンズカップに参加させていただいたのは、今回が初めてです。この大会を通じて学んだことがたくさんあります。

一試合目はオフェンスもディフェンスも中途半端なプレーが続き、声も全然出ていませんでした。けど試合後みんなで話し合い、二試合目はチームの雰囲気良くなり、一人一人が試合を愉しむことができていました。また、一試合目よりもミスを恐れず思いきったプレーができていました。やっぱり一番大事な「気持ち」なんだと改めて感じる事ができました。

相手が誰であろうと気持ちでは負けず、常に挑戦する気持ちを持ってプレーしていきたいです。しかし、オフボールが動いていなかったり、ディフェンスが緩かったり、声が小さいなど、まだまだ課題がたくさんあります。私たちは礼儀正しく元気よく、やる気に満ちたチームを目指しています。その上で、「声が出ない」ことが一番の課題だと思うので、練習の時からみんなで声をかけ合ってチームを盛り上げていきたいです。また、ミスが続けてしまっている時や、チームの雰囲気が暗い時に、声をかけて一度チームを立て直せるような選手になりたいです。



KAN-ONJI-LIONS

コロナ禍で大会開催が難しい中、私達にこのような機会をあたえてくださり、ありがとうございました。これからもチームのレベルアップに向けて日々練習に励んでいきますので、応援宜しくお願いします。

学校組合立三豊中学校 女子バスケットボール部キャプテン 石塚 美羽

今回のライオンズカップは新チームになって初めての公式大会でした、三豊中学校はまだ三年生が引退していないので、練習試合があっても三年生に頼ったプレーをしてしまっていました。なので、ライオンズカップは三年生がいないのですごく不安でしたが、三年生抜きでどこまでできるかを知りたいと思い、臨みました。

最初の相手は豊中中学校でした。三年生がいないと、やっぱり攻撃が遅くなってしまい、早く攻めようとしてパスが雑になったり、カットされ、相手の点につながってしまうということがありました。また、リバウンドを取っても簡単なシュートミスで点を取るチャンスを逃してしまうということもあり、危うい市街になってしまいました。

次の相手クラブチームの K-WEST との試合でも、パスミス、キャッチミスや、簡単なシュートミスが失点につながりました。特にパスミスが点差を広げられた原因として大きかったと思いました。オールコートでディフェンスされることになっていないのもあり、なかなかボールをフロントコートに運ぶことができませんでした。そしてパスする相手のことを考えていないパスを何本もしてしまい、カットされて速攻をくらう展開が何度もありました。練習中や試合前に通らないパスはしてはいけないと何度も言われていましたが、試合中に何度もしてしまい、とても情けない試合でした。

今回の大会で今の自分たちに足りない部分があることが分かったと思います。なにより練習不足だと感じました。ただでさえ練習時間が短いから、もっとメニューをしぼりこんで、内容の濃い練習を心がけようと思いました。また、日頃から言われている、ルーズボールやリバウンドの時のボールに対する執着心が弱かったと思いました。

同じような失敗を繰り返さないためにも、体力づくりやパス練習、シューティングを重点的にして、セットプレーも充実させたいと思いました。三年生に頼らなくても、自分たちでしっかりしたプレーができるようにしたいです。

決勝では負けてしまったけど、自分たちの弱い所、直さなければならぬことを再確認できました。

一緒に試合をしてくれた対戦相手の皆さん、応援してくれた保護者の方々、審判をくださった方々、大会関係者の皆さま、ありがとうございました。



*** 10月カレンダー***

10月 3日(月)	AM 9:00	国際平和ポスター展 展示作業	観音寺市役所
10月 4日(火)	PM 1:30	例会打ち合わせ	事務局
10月 5日(水)	AM 6:30	第1550回早朝例会	有明グランド
	AM 8:30	22親善ゴルフ大会	琴平カントリークラブ
10月 7日(金)	PM 1:00	336複合地区アラートセミナー	社の街グレース
10月12日(水)	PM 7:00	定例理事会	事務局
10月14日(金)	PM 4:00	国際平和ポスター展 撤去作業	観音寺市役所
10月18日(火)	PM 1:30	例会打ち合わせ	事務局
10月19日(水)	PM 7:00	第1551回例会(メンバースピーチ)	観音寺グランドホテル
10月24日(月)	PM 1:30	編集会議	事務局
10月30日(日)	AM 10:50	三豊LC結成50周年記念式典	琴参閣

10月

- 1日 丁野 利一
- 18日 高井 宏蔵
- 20日 山内 茂宏
- 23日 原 信幸



✿ 編集後記 ✿

大谷翔平選手が大活躍ですね!!

昨年も MVP 獲得の素晴らしいシーズンでしたが、今季も『二桁勝利、30本塁打』、『30本塁打、200奪三振』など野球の神様ベーブルースも成し得なかった MLB 史上初物づくめの記録にはただ驚くばかりです。彼の類稀な才能や努力は勿論の事ですが、NPB 時代から二刀流反対論が沢山あった中でも自分を信じて努力し続ける鋼の精神力の賜だと思えます。日々仕事、プライベートで浮き沈みのある自分ですが少しでも大谷選手を見習い日々精進したい今日この頃です。笑

MC・地区誌編集委員会



表紙説明 ゼフィランサス

「汚れなき愛」「純白の愛」は、ゼフィランサスの中でも白い花をつける品種の清らかなイメージにちなんでつけられたといわれています。また、「便りがある」「期待」という花言葉は、ゼフィランサスの語源で西風を意味する「Zephyros」というギリシャ語に由来しています。

写真提供 杉村 高志

題字 合田 俊午



観音寺ライオンズクラブ事務局

〒768-0067 香川県観音寺市坂本町五丁目 18-35-203

☎ 0875-25-1752 Fax 0875-23-2390

Eメールアドレス kan-onji-lc@mx82.tiki.ne.jp

会 長 合 田 俊 午

〒768-0060 香川県観音寺市坂本町 7 丁目 9 番 20 号

☎ 090-1174-6954

幹 事 寺 瀬 竜 二

〒768-0040 香川県観音寺市柞田町 2230-11

☎ 080-4992-3909

会報編集者

観音寺ライオンズクラブ

MC・地区誌編集委員会

委員長 杉村 高志

〒768-0032 香川県観音寺市原町 25 番地 1

☎ 090-2788-2372